



第2部門

『子ほめ運動と地域の教育力の向上に関する研究』

(平成 18 年 3 月発行)

A 4 159 ページ

本書は、子どもをほめる運動を「子ほめ運動」といい、子どもをほめること、叱ることの両面から考察した研究である。教育社会学、道徳教育、学校教育の観点から、「子ほめ」学習の実践を研究している。自治体における子ほめ運動の事例についても資料として整理している。

目次

I 「子ほめ運動」とは

1. 地域ぐるみの青少年育成に関する一考察

－児童・生徒に関する表彰条例「子ほめ条例」の現状－

清水英男（聖徳大学人文学部児童学科教授）

1. はじめに
2. 健やかな青少年の成長・発達の支援と子ほめ条例の意義
3. 子ほめ条例の現状
4. 事例にみる子ほめ条例の主な成果
5. 子ほめ条例実践上の課題
6. おわりに

II 教育社会学、道徳教育の視点からみた「子ども」をほめる意義

1. 親や地域住民が子どもを誉めて育てることの実証的考察

夏秋英房（聖徳大学人文学部児童学科助教授）

1. 本報の目的
2. 誉めることと叱ることの前提
3. 親から誉められること・叱られること
4. 地域住民から誉められること・叱られることと子どもの生活と意識
5. おわりに

2. 「子ほめ条例」の道徳教育的意義－子どもの道徳性発達との関連において－

細戸一佳（聖徳大学人文学部児童学科講師）

1. はじめに
2. 「子ほめ条例」の概要
3. コールバーグの道徳教育論
4. 「子ほめ条例」の道徳教育的意義
5. おわりに

III 学校を中心とした「子ほめ」学習の実践展開

1. 「ほめる」考－生徒指導の視座から－ 木村善保（聖徳大学人文学部児童学科教授）

1. はじめに
2. 「子ほめ条例」の誕生
3. 「ほめる」の字解
4. 生徒指導に於ける「ほめる」の有用性

2. 地域と学校を結びつける子ほめ学習の多様性－学校を中心とした児童・生徒と地域の事例－

有働玲子（聖徳大学人文学部児童学科助教授）

1. はじめに
2. 山形県における高齢者とのふれあい
3. S先生の指導の成果と課題について
4. 小まとめ
5. 学校目標に組み込まれた「地域」教育－「子ほめ観」の育成へ
6. 地域のお年寄り理解と関わる読書材
7. 学習と今後の課題
8. 「子ほめ条例」の中味とふれあい学習・地域学習

IV 子ほめ運動の代表的事例【資料編】